

四万十町本庁舎建設の動き

平成26年春の竣工を目指して準備を進めております本庁舎建設事業について、意見公募及び住民説明会で町民の皆様からいただいたご意見とそれに対する町の見解をご紹介します。



意見概要	基本設計での位置付けと質問に対する町の見解
■町民開放スペースは、どのように利用されるのか	西・東庁舎ふれあいホールは、共に休日も開放する予定です。利用方法・内容等については現在検討中です。
■教育委員会の事務所位置は東庁舎の2階が適当か。また、生涯学習部門と学校教育部門を分離する考えか	生涯学習部門と学校教育部門を分離する考えはありません。教育委員会との協議結果に沿った設計としています。
■危機管理センター機能(災害対策本部機能)は、西庁舎3階の防災対策室か？東庁舎1階の多目的大ホールか？	東庁舎1F多目的ホールは、緊急時の避難場所として想定しています。災害対策本部機能は、本庁各課の庁舎機能と緊密な連携がとれやすい位置であるとともに、県や国等のホットラインが整備されている防災対策室に近い位置がベストと考えているため、西庁舎3Fの設計としています。
■公文書の管理について、基本設計の庁舎はどう捉えているのか	公文書館の設置は、今後の検討課題と考えております。現在の構想では、新庁舎敷地内及び庁舎内に配置することは困難な状況ですので、他の遊休施設の活用を検討します。
■エレベーターを自由通路と庁舎北側に二つ、西庁舎と東庁舎それぞれ設置しているがもったいないのでは？	EVの位置等、コスト面も含め再検討します。
■東庁舎南側の休憩室はどう利用するのか	東庁舎2F南側の休憩室については、通常は職員用を想定しております。ただし、災害発生時等緊急の場合は避難場所として活用する予定です。
■受水槽は中水道としての利用か	配置図の「受水槽」は上水道用です。雨水の受水槽は、西庁舎地下の免震装置付近に配置し、ポンプにより東西庁舎に配水、雑用水として利用します。
■CATV操作室の位置はこれでよいのか	地域振興公社にも確認しながら設計を進めておりますが、議会側との設計協議等により部屋の配置等が変更になっておりますので、最終案の段階で再度協議します。
■議場の設計はどのように議論するのか。また、災害時の利用方法はどのようなものか	現在は基本設計段階であり、主に東庁舎3Fの議会機能の各室の配置や面積規模について議会にお示しをしている段階です。災害時の利用方法についても、今後、議会側との協議を踏まえて決定していく予定です。
■渡り廊下に動く歩道をつけてほしい	整備コストや維持管理費の面で整備は難しいと思われませんが調査・検討します。
■雨天時も濡れずに庁舎に入れるように、車寄せは無い	入口付近や駐車場の一部を差し掛け屋根の形に設計する等、工夫します。
■線路に近い庁舎ということになるが、騒音対策は？	騒音調査の結果では現本庁舎と比べ大きな違いはありません。現段階では窓の位置や建具での対応を考えていますが、具体的な対応策は実施設計時に明確にします。
■建物の耐用年数や維持管理に係るランニングコストなどの計画を明確にしてほしい	時代の経過にも対応できるよう、実施設計時に将来計画を検討します。
■電話の回線をきちんとやってほしい	現在の本庁の電話は空いた回線を使って外部に掛ける仕組みであるため、住民の皆様にご迷惑をおかけしております。新庁舎ではそういったことがないように対応します。